栃木県民のための
地域精神医療情報ネットワーク誌

Okadai NEWS

令和3(2021)年 3月
vol.2

栃木県立岡本台病院　基本理念

地域精神医療の基幹病院として
役割を果たすとともに、
患者さん一人一人の人権を尊重し、
より良質な医療の提供により、
県民の精神医療と福祉の向上に寄与します。

Contents

- 特集：アルコール専門外来
- 連載：診察室より
- Okadai活動紹介：感染症予防対策
- Topics：地方独立行政法人化に向けて
- 外来診療のご案内

写真：正面玄関入り口での検温の様子

新型コロナウイルス感染予防のため、
ご来院の皆様に、体温測定、手指消毒及び
体調確認のご協力をお願いしております。

敷地内 全面禁煙
当院では受動喫煙防止のため令和元年7月1日より敷地内全面禁煙を実施してます。
受動喫煙の防止にご協力ください。

発行：栃木県立岡本台病院

特 集 アルコール専門外来

当院には、栃木県内で現在唯一のアルコール専門外来が設けられています。内科などの身体科や一般精神科からの紹介で来院される方もいれば、ご自身の飲酒状況が心配で相談に見える方もいます。困っていることや心配なことが何なのかを確認しながら問題解決を目指していきます。近年は、アルコール依存症の薬物治療の幅も広がっており、相談をしながらその方に合った治療方法を考えていきます。

◆ 依存症の専門外来プログラムがスタート！

新たに認知行動療法に基づく依存症に特化した専門外来プログラムを開設することになりました。このプログラムでは、飲酒の問題について振り返り、お酒を飲まない人生を送るために役立つ知識や方法を患者の皆さんと一緒に考えていきます。お酒をただ飲まないようにするだけでなく、どうしたら健康で幸せな生活が送れるのか一緒に前向きに考えていければと思います。薬物依存症またはギャンブル依存症の方もこのプログラムを通して依存症に対する考え方を学ぶことができます。ご興味のある方は、当院の医師にご相談ください。

依存症外来プログラム

- 日時：原則、第１・第３水曜日　午前10時～11時
- 定員：10名程度
- 費用：医療保険が適用されます。自立支援医療も併用可能です。
- 内容：以下のとおりです。(内容は変わる可能性があります。)

回	テーマ
第 1 回	はじめに・１日の生活を振り返る
第 2 回	飲酒問題の整理
第 3 回	飲酒と断酒の良い点・悪い点
第 4 回	引き金と命綱
第 5 回	飲酒要求への対象と思考ストップ法
第 6 回	アルコールへの誘惑
第 7 回	もしもの時に備える
第 8 回	将来を考える
第 9 回	ストレスに対処する
第10回	楽しい活動を増やす

◆ 入院治療も行っています

なお、アルコール依存症の治療は、外来治療が基本となりますが、外来治療が困難な場合は入院治療をお勧めすることもあります。入院治療では２週間単位でアルコールリハビリテーションプログラム（ARP）を行います。また、入院は基本任意入院ですので、ご本人の同意と理解を必要とします。

◆ まずはお気軽にご相談を

当院では、依存症について、患者さんだけでなく、ご家族の相談も受け付けております。まずは外来にご相談ください。

ARPグループミーティングの様子

この日は、患者さんと当院のスタッフとで飲酒の問題等について一緒に振り返りました。

連 載 診察室より

診療科長
伊集院 将
Susumu Ijuuin

◆出身大学：東京大学
◇資格・学会認定等
- 精神保健指定医
- 精神保健判定医
- 日本精神神経学会専門医
- 日本精神神経学会指導医
- 臨床研修指導医

当院の医師が順番にコラム等を担当することになりました。初回は私、伊集院が担当いたします。

さて、精神科外来には、いろいろな患者さんがお越しになりますが、意外に対応が難しいのが自宅で家族に対して乱暴なことをしたり、言ったりされる患者さんです。

ご家族からは、そのような患者さんをすぐに入院させたいと要望されることがあります。十分な診察なしには入院は決められないとお伝えすると、対応が冷たい等と言われがちです。しかし、このようにお伝えするのには理由があります。

まず、十分な診察や説明がなければ、患者さん自身は、無理矢理入院させられたと感じ、今後、再び精神的に不調になった時に、病院の受診を避けるようになってしまいますし、家族への恨みが強くなってしまうこともあります。そうなると乱暴が更に酷くなってしまうことがあります。

また、以前に比べて、外来通院による治療でも適切な薬物療法により症状が早く改善することが多くなってきました。入院が必ずしも必要でないなら、環境が大きく変わる精神科病院への入院を避ける方が良い結果に繋がることが多いように思います。

さらに、言うまでもありませんが、精神疾患があるからといって必ず乱暴になる訳ではなく、大多数の患者さんは穏やかに過ごせます。逆に言えば乱暴な患者さんには病気以外の理由があることもあります。

このようなことを色々と考えながら私達は日々の診察に当たっています。患者さんには悩み等を一人で抱え込まないでいただきたいと思いますし、ご家族や関係者の皆様には、今後ともご理解とご協力をお願いできればと考えています。

Okadai 活動紹介　新型コロナウイルス感染症予防対策

新型コロナウイルス感染症は、感染し症状が出る前から感染力があり、それが感染拡大防止を困難にしています。当院は、自ら適切な感染防御が困難な患者さんや高齢な患者さんも多く、また、多床室が多いなど、一旦ウイルスが持ち込まれれば感染が広がりやすく重大な事態になる恐れがあります。

ウイルスを持ち込まないこと、持ち込ませないこと、もし持ち込まれたとしても被害を最小にする適切な対策が大切です。

◆当院における感染症予防対策

当院では、院内感染防止対策委員会が策定した新型コロナウイルス感染防止対策指針に基づき、医療スタッフが感染予防対策を行っています。

また、毎週1回、院内感染防止対策についての話し合いの場を設け、栃木県の「警戒度に関する判断基準となる指標の推移」の現状等を考慮し、当院における対応策を決定しています。

さらに、「新型コロナウイルス感染症医療特命チーム」を結成し、万が一感染源が院内に持ち込まれたとしても医療スタッフが安全に対応できるよう、特命チームが中心となって平時より防護衣着脱等の訓練を行っています。

次に外来及び入院病棟における個別の対策を紹介します。

【 外 来 】

外来正面玄関にてサーマルカメラによる検温及び看護師による問診を行っています。発熱がないか、咳や痰は出ていないか、息苦しさはないか、新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者の方が身近にいないか等の確認をさせていただいています。

また、外来患者さんには手指消毒とマスクの着用をお願いしています。

さらに、看護師がドアノブや手すり等、不特定多数の人が触る場所の消毒を適宜行い、換気にも配慮しています。

【 入院病棟 】

1日2回の検温を行い、健康観察をしています。入院病棟の患者さんにもマスク着用をお願いしています。

病室や共有スペースの消毒を適宜行い、食事は極力向かい合わせにならないよう工夫しています。

その他、面会や外出・外泊の制限をさせていただいています（必要性を吟味し、医師が必要と判断した場合のみ制限を解除しています。）。

なお、入院予定の患者さんには、原則、入院前2週間の検温をお願いしています。

正面玄関に設置した
サーマルカメラ

医療スタッフによる
検体採取等の訓練の様子

感染症対策として導入したWeb会議システム
直接顔を合わせなくても円滑に会議ができています。
移動時間の縮減にも繋がりました。

Topics　地方独立行政法人化に向けて準備を進めています

栃木県立岡本台病院は、令和4（2022）年4月の地方独立行政法人への移行を目指しています。現在、地方独立行政法人化後に達成すべき業務運営の目標設定等について具体的に検討を進めています。県立病院としては、県立がんセンター、県立リハビリテーションセンターに続く3例目で、実現すれば県立3病院が全て地方独立行政法人に移行することになります。

地方独立行政法人制度は、平成16（2004）年4月から導入された制度で、令和2（2020）年4月1日時点で全国17の都府県において、都府県立の病院が地方独立行政法人に移行しています。地方独立行政法人化することで、予算や人事面での制約が少なくなり、より自主的で柔軟な事業の運営が可能になります。

引き続き医療の質の向上や経営の健全化に取り組み、良質な医療サービスを提供できるよう努めて参ります。

外来診療のご案内

予約受付 電話番号 028-673-2211

診療受付時間【 月～金曜日 】 8:50～11:00

予約受付時間【 月～金曜日 】
- 初診予約 14:00～16:00
- 再診予約及び予約変更 12:00～16:00

■当院の外来は全て【 予約制・主治医制 】となっています。
初診・再診に関わらず、予約時間を守って受診していただくようお願いいたします。
■また、主治医によって受付順が前後することがありますので、ご了承ください。
■当院では医薬分業の一環として、外来患者様には【 院外処方せん 】をお薦めしています。
詳しくは、主治医または薬局にご相談ください。

外来担当医一覧

精神科一般外来

統合失調症、双極性障害、不安障害など、幅広い精神疾患に対し、精神療法や薬物療法を用いて治療に当たります。

	月	火	水	木	金
初診	（当番）	（当番）	（当番）	（当番）	（当番）
再診	島田（達） 山口 高橋 大和田	伊集院 岡田＊ 田中 横山 天野	伊集院 佐々木 高橋 穴水	寺石＊ 竹内※ 白木 北林	島田（達） 伊集院 原 清田＊

＊非常勤医師
※10時台の診察なし

アルコール・薬物専門外来

アルコール依存症の治療が中心ですが、栃木DARCと協力して薬物依存症への支援や
近年問題となりつつあるインターネット依存やギャンブル依存にも対応できるよう準備しています。

	月	火	水	木	金
初診		島田（直）		山口	田中
再診	島田（直）	山口	島田（直） 黒田＊ 田中	島田（直）	黒田＊

＊非常勤医師

※上表は令和３(2021)年３月１日現在のものです。最新の情報につきましては病院ホームページにてご確認ください。

■交通のご案内

交通機関をご利用の場合
- JR宇都宮線・岡本駅西口から徒歩15分（タクシーで５分）
- JR宇都宮駅からタクシーで15分
- 宝木団地発（JR宇都宮駅経由）の関東バス
「奈坪台中央（奈坪台）」行き「金井台中」下車徒歩５分、
又は「釜井台団地」行き「釜井台団地入口」下車徒歩10分

お車をご利用の場合
- 東北自動車道、宇都宮ICから30分
- 北関東自動車道、上三川ICから30分

■緊急・救急医療のご案内

夜間・休日に具合が悪くなった時は、**栃木県精神科救急情報センター**にご相談ください。

栃木県精神科救急情報センター TEL 0570-666-990 平日／17:00～22:00 休日／10:00～22:00

編集後記

Okadai NEWS vol.2の発行に当たり連携企画「診察室より」をスタートいたしました。当院にどのような医師が働いているのか皆様に知っていただけるよう、当院の医師が自身の紹介を兼ねて順番にコラム等を書いていきます。“ 顔の見える病院 ” を目指して、引き続き当院の活動等をお届けしていきたいと思います。

（広聴広報委員会）

本誌に対するご感想やご意見等をお待ちしております。
下記Emailアドレス宛てにご連絡ください。
Email：okamotodai@pref.tochigi.lg.jp
※右記のQRコードを読み取りいただいても結構です。

栃木県立 岡本台病院
〒329-1104 宇都宮市下岡本町2162
TEL 028-673-2211 FAX 028-673-2214
【 岡本台病院HP 】